

【指定テーマ2 海事教育の現場から】

《活動報告》

持続可能な開発のための教育（ESD）¹⁾としての海洋教育の推進 —世界文化遺産「三池港」を中心とした学習カリキュラムの作成と実践を通して—

古賀正広
(大牟田市立みなと小学校)

目 次

1. 海洋教育の推進に至る経緯
2. 目標設定とカリキュラムの作成
3. 具体的実践
4. 取組の成果と今後の方向性

1. 海洋教育の推進に至る経緯

本校は、福岡県の最南端にある大牟田市に所在する児童数260名程度の中規模校である。平成24年1月に市内にある他の小・中・特別支援学校とともにユネスコスクールに加盟し、「持続可能な開発のための教育」(ESD)に取り組んできた。平成28年に結ばれた大牟田市教育委員会と東京大学海洋アライアンス海洋教育促進センターとの海洋教育促進拠点としての連携に関する協定のもと、海洋教育推進モデル校として平成29年度から海洋教育に取り組んでいる。

本校で進める海洋教育は、校区に隣接する世界文化遺産（明治日本の産業革命遺産）である「三池港」を軸に据え、石炭産業を中心とした市の発展に大きな役割を果たした「三池港」の歴史や人々の思い、これからの持続可能な社会構築のために自分たちにできることについて、総合的な学習の時間を中心に学習を行っている。3年生から6年生までの4年間で、海洋教育の4つのコンセプト「海に親しむ」「海を知る」「海を守る」「海を利用する」を系統的・段階的に設定し、有明海の生物や「三池港」とその周辺施設の魅力、他の近代化遺産との関わり等を学び、「三池港」や大牟田市の持続発展のために自分たちには何ができるかを考え、校内や地域に向けた発信や、自分たちにできることの実践を行っている。そのことを通して、世界文化遺産である「三池港」や有明海に関心を持ち、地域や国際的な課題を意欲的に解決できる子どもを育てることを目指している。

¹⁾ Education for Sustainable Development の略。世界中の環境、貧困、人権、平和、開発といった現代社会の課題を自らの問題としてとらえ、身近なところから取り組むことにより、解決につながる新たな価値観や行動を生み出すこと、そしてそれによって持続可能な社会を創造していくことを目指す学習や行動を表す。文科省が日本ユネスコ国内委員会を通じて提唱している。詳しくは <http://www.mext.go.jp/unesco/004/1339970.htm> を参照。

2. 目標設定とカリキュラムの作成

2. 1 目標の設定

海洋教育の目的は、「海洋と人間の関係についての国民の理解を深めるとともに、海洋環境の保全を図りつつ国際的な理解に立った平和的かつ持続可能な海洋の開発と利用を可能とする知識、技能、思考力、判断力、表現力を有する人材の育成を目指す。」²⁾ ことである。この目的を達成するために、海洋教育では、海に親しみ、海を知り、海を守り、海を利用する学習を推進していく。

そこで、本校の海洋教育の目標を、以下のように設定した。

- 三池港や有明海に関心をもち、意欲的に課題を解決できる子どもを育てる。
- 活動内容に応じた追究方法やまとめ方を工夫しながら、協働して学習を進め、自分の考えを豊かに表現し、自らの生活の在り方を考える子どもを育てる。
- 国語科での学習を基に、まとめ、表現などの学習活動を取り入れ、目的や意図に応じて分かりやすく表現する力や考えを筋道立てて発表する力を高める。

この目標のもと、「三池港」についての学習をよりよく展開することで、有明海の豊かな自然や文化への学びを深め、海に対する豊かな感受性や海に対する関心等を培い、海の自然に親しみ、有明海的环境や保全活動を通して、海によりよくかかわろうとする児童の育成を目指すこととした。

2. 2 カリキュラムの作成

上記の本校における海洋教育の目標をもとに、年間における学習内容を選択し、カリキュラムの作成を行った。各学年における学習内容は、以下の通りである。

○3年生「みなと校区じまん隊」

干潟観察を通して有明海の生き物に関心をもち、資料や鮮魚店の方の話から生き物について調べ、まとめる。また、生き物の生態を生かしたゲームを考え「みなと小まつり」を開く。

○4年生「三池港のひみつをさぐる」

校区にある世界遺産「三池港」について関心をもち、その役割や歴史について調べることを通して、三池港のよさや建造に携わった人々の思いに気づき、三池港クイズ新聞を作り、発信する

○5年生「世界遺産だけじゃない三池港」

三池港や三池港周辺にある施設について調べることを通して、三池港について世界遺産以外の魅力を見出し、パンフレットにまとめ、発信する。

○6年生「大牟田の魅力を発信しよう」

近代化遺産見学や三池港以外の近代化遺産を調べることを通して、他の近代化遺産のよさや三池港とのつながりに気づき、3年生から5年生までの総合的な学習の時間で学んできた有明海や三池港の魅力、三池港と近代化遺産とのかかわりを生かしたまちづくりパンフレットを作り、発信する。

²⁾ 海洋政策研究財団「21世紀の海洋教育に関するグランドデザイン」より

この各学年の内容を総合的な学習の時間を中心に他教科等との関連を図りながら年間を通して実践を行うために、下記に示す「海洋教育カレンダー」（年間指導計画）を作成した。

表1 【平成29年度 海洋教育カレンダー（3年）】

H 29 年度		海洋教育カレンダー									3 年		
大牟田市立みなと小学校													
教科等	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
総合	総合	総合って何	みなと校区安全隊	みなと校区安全隊	みなと校区安全隊						伝えよう 手と心で	伝えよう 手と心で	伝えよう 手と心で
	配時	2	20								26		
	総合(海洋)						みなと校区 じまん隊	みなと校区 じまん隊	みなと校区 じまん隊	みなと校区 じまん隊			
他教科	合同実践			干潟と ふれあおう 3年								合同 フォーラム 6年	
	社会	わたしたちの まちの ようす	わたしたちの まちの ようす	わたしたちの 市の ようす	わたしたちの 市の ようす					海苔作りの 仕事		地域に残る 年中行事	
	配時						12			9		5	
学校行事	歓迎集会 遠足												
	リレー大会 ④⑤⑥												
	野外活動⑤												
総合	総合(海洋)												
	配時												
	合同実践			干潟と ふれあおう 3年				干拓4年 クルージング 5年				合同 フォーラム 6年	
他教科	社会												
	配時												
	その他												
学校行事	歓迎集会 遠足												
	リレー大会 ④⑤⑥												
	野外活動⑤												
総合	総合(海洋)												
	配時												
	合同実践			干潟と ふれあおう 3年				干拓4年 クルージング 5年				合同 フォーラム 6年	
他教科	社会												
	配時												
	その他												
学校行事	歓迎集会 遠足												
	リレー大会 ④⑤⑥												
	野外活動⑤												
総合	総合(海洋)												
	配時												
	合同実践			干潟と ふれあおう 3年				干拓4年 クルージング 5年				合同 フォーラム 6年	
他教科	社会												
	配時												
	その他												
学校行事	歓迎集会 遠足												
	リレー大会 ④⑤⑥												
	野外活動⑤												

表2 【平成29年度 海洋教育カレンダー（4年）】

H 29 年度		海洋教育カレンダー									4 年		
大牟田市立みなと小学校													
教科等	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
総合	総合	ごみ・水 ダイエット作戦	ごみ・水 ダイエット作戦	ごみ・水 ダイエット作戦	バリアフリー をめぐらして						1/2 成人式を しよう	1/2 成人式を しよう	1/2 成人式を しよう
	配時	ごみ・水 16		バリアフリー 5							20		
	総合(海洋)												
他教科	合同実践			干潟と ふれあおう 3年								合同 フォーラム 6年	
	社会											福岡県と国内 の地域や外国 との関わり	
	配時											8	
学校行事	歓迎集会 遠足												
	リレー大会 ④⑤⑥												
	野外活動⑤												
総合	総合(海洋)												
	配時												
	合同実践			干潟と ふれあおう 3年				干拓4年 クルージング 5年				合同 フォーラム 6年	
他教科	社会												
	配時												
	その他												
学校行事	歓迎集会 遠足												
	リレー大会 ④⑤⑥												
	野外活動⑤												
総合	総合(海洋)												
	配時												
	合同実践			干潟と ふれあおう 3年				干拓4年 クルージング 5年				合同 フォーラム 6年	
他教科	社会												
	配時												
	その他												
学校行事	歓迎集会 遠足												
	リレー大会 ④⑤⑥												
	野外活動⑤												

表3【平成29年度 海洋教育カレンダー（5年）】

H 29 年度		海洋教育カレンダー										5 年		
大牟田市立みなと小学校														
教科等	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月		
総合	総合	高齢者の方との交流をはじめよう	高齢者の方との交流をはじめよう	自然・友だち新しい発見をしよう	自然・友だち新しい発見をしよう			チャレンジ集会に向けて			最上級生に向かって	最上級生に向かって	最上級生に向かって	
	配時	12		12				5			17			
	総合(海洋)						世界遺産だけじゃない三池港	世界遺産だけじゃない三池港	世界遺産だけじゃない三池港	世界遺産だけじゃない三池港				
他教科	合同実践			干潟とふれあおう3年				干潟4年クルージング5年			合同フォーラム6年			
	配時							23						
	社会		自然条件と人々の暮らし					世界とつながる日本の工業			国土の自然とともに生きる			
学校行事	配時		8					5			8			
	その他							道徳「せかいの文化遺産」						
	配時							1						
学校行事	歓迎集会 遠足	リレー大会 ④⑤⑥			野外活動⑤		運動会	地区競技会⑥	修学旅行⑥ チャレンジ集会	持久走大会	ユネスコ スクール集会	学習発表会	お別れ集会 遠足 卒業式⑤⑥	

表4【平成29年度 海洋教育カレンダー（6年）】

H 29 年度		海洋教育カレンダー										6 年		
大牟田市立みなと小学校														
教科等	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月		
総合	総合	高齢者の方との交流を深めよう	高齢者の方との交流を深めよう			戦争と平和について考えよう	戦争と平和について考えよう			私たちの未来	私たちの未来	私たちの未来		
	配時	5						18(14?)			20			
	総合(海洋)		大牟田の近代化遺産を調べよう	大牟田の近代化遺産を調べよう	大牟田の近代化遺産を調べよう				大牟田の魅力発信しよう	大牟田の魅力発信しよう	合同フォーラムに向けて			
他教科	合同実践			干潟とふれあおう3年				干潟4年クルージング5年			合同フォーラム6年			
	配時		13						10	9?				
	国語							町の未来を描こう	町の未来を描こう					
学校行事	配時							13						
	社会						新しい時代の幕開け近代国家に向けて							
	配時						13							
学校行事	歓迎集会 遠足	リレー大会 ④⑤⑥			野外活動⑤		運動会	地区競技会⑥	修学旅行⑥ チャレンジ集会	持久走大会	ユネスコ スクール集会	学習発表会	お別れ集会 遠足 卒業式⑤⑥	

さらに、具体的な学習内容を示した「海洋教育ストーリーマップ」(単元指導計画)を作成し、各学年で、見通しを持った計画的な実践を行うようにした。

表5【平成29年度 海洋教育ストーリーマップ（3年）】

3年		海洋教育ストーリーマップ			みなと校区じまん隊			学習内容・活動・教科等との関連						
めざす子どもの姿		有明海でとれる魚や地域で消費されている魚についての調査や、干潟で遊ぶ体験・観察をとおして、有明海の海の幸の豊富さや干潟の楽しさに気づき、その魅力についてリーフレットまとめ、発信することができる。												
		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
総合的な学習の時間	6月	課題設定			10月 課題設定			11月 課題追求			12月 行動・発信・振り返り		1月 行動・発信・振り返り	
	<p>○28年度に5年生が行った海水浴場の様子を見て、干潟へのイメージをもつ。</p> <p>○干潟（三池海水浴場？）に行き、干潟の生き物を観察したり、干潟に入る体験活動を行うことを通して、有明海の生き物を調べたり、干潟の楽しさを伝えたりしたいという思いをもつ。</p>			<p>○有明海に棲む生き物や、干潟について調べたいことを考える。</p> <p>・有明海には何種類くらいの生き物がいるか。</p> <p>・おいしい魚はどれか。</p> <p>・めずらしい生き物は棲んでいるのか。</p> <p>・なぜ楽しいのに干潟で遊ぶ人が少ないのか。</p> <p>など</p>			<p>○自分たちが設定した課題について情報収集を行う。</p> <p>・魚屋さんインタビューする。</p> <p>・インターネットで調べる。</p> <p>・図鑑で調べる。</p> <p>・図書室の本で調べる。</p> <p>・お家の人になつねる。</p> <p>など</p>			<p>○収集した情報を整理し、リーフレットにまとめ、2年生に向けて発表する。また、作成したリーフレットは三川地区公民館に掲示してもらい、地域の方々に向けても発信する。</p>		<p>○自分たちが調べた有明海の海の生き物や、干潟の楽しさについて、ユネスコスクール集会で全校児童に向けて発信する。</p>		
教科等との関連	4・5月	6・7月			11月									
	<p>社会：わたしたちのまちのようす</p> <p>○校区を探検し、校区にはどんなものがあるのかを調べ、校区について知る。</p> <p>○校区の中には近代化遺産である三池港がある事を知る。</p>			<p>社会：わたしたちの市のようす</p> <p>○大牟田市の形や大きさ、海に近い所や山に近い所などについて調べ、大牟田市の特徴を知る。</p>			<p>社会：海苔作り</p> <p>○大牟田市でさかんな海苔作りについて、どのようにしてさかんになったかや海苔作りの工程、よいのりを作る工夫などについて調べ、海苔作りにかかわる人々の思いや努力を知る。</p>							

表6【平成29年度 海洋教育ストーリーマップ（4年）】³⁾

4年		海洋教育ストーリーマップ			三池港のひみつをさぐる			学習内容・活動・教科等との関連					
めざす子どもの姿		校区内にある世界遺産「三池港」について関心をもち、その役割や歴史について調べることを通して、三池港のよさ(すごさ)や建造に携わった人々の思いに気づき、それについて新聞にまとめて発信することができる。											
		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
総合的な学習の時間	10月	10月			11月			11月		12月		1月	
	<p>課題設定①</p> <p>○身近にあるにも関わらず、三池港のことに気づき、それだけの課題を設定しているのか。</p> <p>・いつからあるのか。</p> <p>・どれくらいの船がやってくるのか。</p> <p>・外国にも行けるのか。</p> <p>など</p>			<p>課題追求①</p> <p>○実際に三池港に行き、どんな施設があるのか調査したり、三池港で働く人の話を聞いたりする。</p>			<p>課題設定②</p> <p>○三池港に実際行って調べたことや聞いたことから、さらに調べたい課題を設定する。</p> <p>・團琢磨さんはどんな人か。</p> <p>・建造にはどれくらいのお金がかかったのか。</p> <p>・何人くらいで作り上げたのか。</p> <p>など</p>			<p>課題追求②</p> <p>○自分たちが設定した課題について情報収集を行う。</p> <p>・GTを招き、三池港に関する説明をしてもらったり、インタビューをしたりする。</p> <p>・インターネットで調べる。</p> <p>・図書室の本で調べる。</p> <p>など</p>		<p>行動・発信・振り返り</p> <p>○収集した情報を整理し、新聞にまとめ、3年生に発表する。また、作成した新聞は三川地区公民館に掲示してもらい、地域の方々にも発信する。</p>	
教科等との関連				9月			10月		2月				
				<p>社会：大牟田の干拓</p> <p>○大牟田市の干拓がなぜ作られたか、どのように作られたか、どのように保存されてきたかについて調べ、当時の人々の思いや努力を知る。</p>			<p>社会：受け継がれる文化財</p> <p>○大牟田市や荒尾市にある近代化遺産について調べ、それらの持つ価値や、それらを保存し、伝えようとする人々の思いや努力を知る。</p>		<p>社会</p> <p>福岡県と国内の他地域や外国とのかわり</p> <p>○福岡県の暮らしや産業と外国とのつながりを調べ、福岡県や大牟田市が様々な地域や国とつながっていることを知る。</p>				

³⁾ 表中の「GT」はゲストティーチャー（guest teacher）の意味

表7【平成29年度 海洋教育ストーリーマップ（5年）】

5年		海洋教育ストーリーマップ		世界遺産「だけじゃない」三池港		学習内容・活動・教科等との関連						
めざす子どもの姿												
三池港や三池港周辺にある施設について調べることを通して、三池港について世界遺産以外の魅力を見出し、それについてパンフレットにまとめ、発信することができる。												
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
総合的な学習の時間	10月 課題設定		11月 課題追求		12月 行動・発信・振り返り		1月 行動・発信・振り返り					
	<p>○三池港クルージングで海から三池港を見たり、4年生の時に行った三池港見学のことを想起したりしながら、三池港やその周辺にあるものについて調べたい課題を設定する。</p> <ul style="list-style-type: none"> 工場がたくさんあって、夜には光っているのを見たことがあるな。何の工場だろう。 砂浜があるけど、遊んでもいいのかな。 魚釣りをしている人がいたけど、何が釣れるのだろう。 <p>など</p>		<p>○自分たちが設定した課題について情報収集を行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> GT（三池港を守る会の方や海上保安庁の方？）を招いて説明を聞いたり、電話でインタビューしたりする。 図書室の本で調べる。 お家の人に訊ねる。 実地調査をする。 <p>など</p>		<p>○収集した情報を整理し、世界遺産以外の魅力をパンフレットにまとめ、発表し合う。また、作成したパンフレットは三川地区公民館や市役所に置いてもらい、地域の方や他の市民にも発信する。</p> <ul style="list-style-type: none"> 工場夜景が見られる三池港 釣りスポットとしての三池港 海を守る拠点としての三池港 海水浴場として賑わった三池港 <p>など</p>		<p>○自分たちが調べて発見した三池港の魅力について、ユネスコスクール集会で全校児童に向けて発信する。</p>					
教科等との関連	5月 社会：自然条件と人々の暮らし		10月 社会：世界とつながる日本の工業		2月 社会：国土の自然とともに生きる							
	<p>○温かい地方や寒い地方、高地や低地に暮らす人々の暮らしについて調べ、国土の自然環境に適應し、それを生かしながら生活していることを知る。</p>		<p>○日本の自動車の世界とどのように広がっていくのかを調べ、工業生産に従事している人々の工夫や努力、工業生産を支える貿易や運輸などの働きを知り、それらが国民生活を支える重要な役割を果たしていることを考える。</p>		<p>○森林と人々の暮らしや、自然災害の防止、環境保全やそれらに関わる人々を調べ、人々の生活には国土の自然環境が密接に関わっていることを知る。</p>							

表8【平成29年度 海洋教育ストーリーマップ（6年）】

6年		海洋教育ストーリーマップ		大牟田の魅力を発信しよう		学習内容・活動・教科等との関連						
めざす子どもの姿												
近代化遺産見学や他の近代化遺産を調べることを通して、他の近代化遺産の良さや三池港とのつながりに気づき、3年生から5年生までの総合的な学習の時間で学んできた有明海・三池港の魅力や、三池港と近代化遺産との関わりを生かした町づくりプレゼンテーションを作成し、発信する。												
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
総合的な学習の時間	5月 課題設定・追求		6月 課題設定		7・11月 課題追求		12月 行動・発信・振り返り		1月 行動・発信・振り返り			
	<p>○近代化遺産見学を行い、大牟田市各地に点在する近代化遺産と三池港との関わりについて調べる。</p>		<p>○5年生までで学習してきた内容や近代化遺産見学学んだことを想起したり、GTやお家の人から聞いた大牟田市や三池港の賑わいについての話を、大牟田市にたくさんの方が来てより賑やかになるような観光案内パンフレットを作成するという課題をもつ。</p> <p>○どの視点でパンフレットを作るか、課題を設定する。</p> <ul style="list-style-type: none"> 三池港や世界遺産を回るバスツアーはできないか。 有明海の美味しい物をPRできないか。 ライトアップされた工場など、夜の三池港で何かできないか。など 		<p>○自分たちが設定した課題について情報収集を行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> GTを招いてお話を聞く お店にインタビューする。 インターネットで調べる。 図書室の本で調べる。 お家の人にたずねる。 <p>など</p>		<p>○収集した情報を整理し、プレゼンテーションにまとめ、発表し合う。また、作成したプレゼンテーションは、地域の方や市の職員の方などに発信する。</p>		<p>○自分たちが作成した町づくりプレゼンテーションについて、ユネスコスクール集会で全校児童に向けて発信する。</p>			
教科等との関連	9月 社会 新しい時代の幕開け 近代国家に向けて		11・12月 国語：町の未来をえがこう									
	<p>○大日本帝国憲法の発布や、日清・日露戦争、不平等条約の改正、科学の発展などについて調べ、明治中・後期から大正期にかけて国力が充実し、国際的地位が向上したことを知る。</p>		<p>○単元の目標</p> <ul style="list-style-type: none"> 複数の資料から読み取った情報を、目的に応じて活用することができる。 意図を明確に伝えるために、資料を効果的に活用して発表することができる。 <p>○学習課題</p> <p>自分たちの町の未来について考え、プレゼンテーションをしよう。</p> <p>○学習の流れ</p> <ul style="list-style-type: none"> 町作りについて調べたいことを決める。 いろいろな資料を調べ、情報を集める。 情報を整理し、発表する内容を決める。 プレゼンテーションの構成と必要な資料を考える。 町作りについてのプレゼンテーションをする。 									

3. 具体的実践

3. 1 3年生での実践

大牟田市では、毎年7月に大牟田夏祭りが行われ、その一つに「みなと祭り」がある。「三池港」築港（1908年）にちなんだ祭りで、「大蛇山」の町内の巡行、巨大ランタンの制作・展示など、児童にとって身近な祭りとなっている。しかし、児童は「みなと祭り」発祥の歴史的背景や祭りを継承し続けてきた人々の思いへの気づきには至っていない。そこで、「みなと祭り」の実行委員の方に祭りの歴史を話してもらったり、実際にランタンを制作している現場を見せてもらったりしながら、人々の有明海や三池港への思いや願いについて考えていった。そして、自分たちの力で「みなと小まつり」を行うこととなり、「みなと祭り」で行われる巨大ランタンの制作やステージでの出し物を企画、ゲームコーナーの設置などを行い、他学年児童や教師を昼休みに招待し、お祭りを楽しんでもらった。

また、「三池港」のある有明海が、潮の干満の大きい海で、様々な特有の生き物が生息している宝の海であることを、干潟観察を通して学んでいった。有明海の自然環境保全に向けた活動を行っている地域団体の方をゲストティーチャーに招き、有明海の干潟の様子や干潟に生息する生物の観察を行い、多様な希少生物が生息する有明海への理解を深め、海のエコシステムの必要性について意識を高めていった。

さらに、3年生児童は、校区にある日本一のシェアを誇る信号機製造メーカーの工場見学を行い、海を通して東南アジアの各国々とつながっていることを学ぶ学習を展開した。



【「みなと祭り」の様子】



【「みなと小まつり」の巨大ランタン】



【有明海の干潟観察①】



【有明海の干潟観察②】

3. 2 4年生での実践

4年生では、大牟田市の港振興室よりゲストティーチャーを招いての学習、「三池港」の見学などを通して、学んだことをもとに「三池港クイズ新聞」を制作し、三池港の100年の以上にわたる歴史について学ぶ学習を展開した。

本校の校区に隣接する「三池港」の存在については、本校児童全員が知っているといっても過言ではない。また、世界文化遺産に認定されてからは、「世界遺産の三池港」というとらえ方をしている子どもも多い。しかし、児童の認識は、「何か分からないけど凄い」「世界遺産だから凄い」というところに留まっているのが現状である。そこで、4年生では、市の職員の方に来ていただいて、「三池港」の歴史や港の特徴的な部分である長い航路や閘門、スルーゲートなどといった仕組み等について説明をしてもらった。

また、その後、「三池港」に実際に見学に行き、閘門やスルーゲートを動かすための機械などを実際に間近で観察した。その後、自分たちでインターネットや本を使った調べ学習を行い、「三池港クイズ新聞」にまとめた。作成した新聞に書かれた児童の感想を読むと、個々の児童が「三池港」の価値を自分なりに見出したことが分かる。作成した新聞は、地域の公民館に掲示してもらったり、保護者を招待して発表会を開いたりした。保護者や地域の方からは、「身近にあるのに、知らないことばかりで驚いた。」「三池港がどのようにしてできたかがよく分かった。」などの声を頂いた。



【「三池港」の見学①】



【「三池港」の見学②】

3. 3 5年生での実践

5年生では、4年生で学習した三池港の歴史に加え、「三池港」にある海上保安部、税関支署、海水浴場等の施設を見学したり、三池港管理出張所、三池海上保安部、長崎税関三池税関支署、福岡検疫所三池出張所の協力を得たりしながら、「三池港」の海運、保全、観光、自然環境等の視点から「三池港」の素晴らしさを学ぶ学習を展開した。

世界文化遺産に登録されてから、「三池港」は児童の中でも大きな存在になっているが、児童に実



【三池港クルージング①】

際に「三池港」に行ったことがあるか尋ねると、行ったことがないと答える児童が圧倒的に多い。また、「三池港」の周辺にはどのような施設等があるか知っているか尋ねると、何も答えられない児童がほとんどである。

そこで、5年生では、三池港クルージングによる海から見た「三池港」の見学やその周辺にある施設等を見学し、そこで働く人の話を聞いたりすることによって、「三池港」に関連した仕事や港の働き、外国とのつながり、釣り場等のレジャー観光スポットとしての「三池港」について調べ、パンフレットにまとめていった。特に、三池港クルージングによって、児童は、閘門の働きや「三池港」の建造がいかに大規模な工事であったかについて理解を深めることができた。

児童が調べた内容には、小学生にはやや難しい内容のものもあったが、児童が作ったパンフレットに書かれた感想からは、自分たちが知らなかった「三池港」の姿や、特色について学ぶことができ良かったと感じていることが分かった。



【三池港クルージング②】

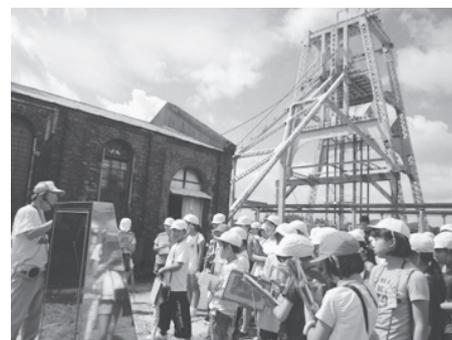
3. 4 6年生での実践

6年生では、大牟田の近代化遺産と九州の近代化遺産のつながりについて調べ、大牟田と九州の他地域との関係に目を向けさせ、海洋を基盤とした九州各地との交流の実際を調べるとともに、「三池港」を中心に、これからの地域、市の持続発展のためには何をすべきか、自分たちに何ができるのかについて考え、市内の海洋教育推進協力校の児童と交流、情報の共有を図りながら、「海と人の共生」についての考えを深める学習を展開した。

大牟田市内には、「明治日本の産業革命遺産」として「三池港」のほかに「宮原坑跡」や「旧三池炭鉱専用鉄道敷跡」などがある。児童は、そうした市内にある世界文化遺産を実際に見学に行き、三池炭鉱関連資産としての歴史や特色、遺産同士のつながりについて学習を進めた。

さらに、修学旅行で訪れた長崎では、原爆資料館を見学したり、市内にある遺構や史跡を見学したりしながら、観光地として成功している長崎の工夫についても考えた。その中で児童は、「当時のようすが再現された映像をみることで、分かりやすかった。」「充実した案内やパンフレットがあって無駄なく見学できた。」などの観光地としての長崎市の工夫をとらえることができた。

そして、これらの学習をもとに、国語科「町の未



【「宮原坑跡」の見学】



【「海洋教育こどもフォーラム」①】

来をえがこう」の学習との関連を図りながら、「三池港」をはじめ市内にある世界文化遺産を活かして大牟田をとより元気な町にするにはどうすればよいかについて考え、自分たちの考えを模造紙にまとめ、海洋教育を推進する他の小学校との学習交流を行う「海洋教育子どもフォーラム」でプレゼンテーションを行った。



【「海洋教育子どもフォーラム」②】

4. 取組の成果と今後の方向性

「三池港」を中核に据えた海洋教育に取り組んできたが、取組の成果として以下の点がある。

- 有明海の干潟観察や「三池港」関連施設の見学など、体験的な活動や学習を仕組んだことにより、児童が有明海や「三池港」をより身近なものとしてとらえ、海への関心が高まった。
- 海の環境や港の働き、人々の生活とのつながり等について学んだことをもとに、これからの自分自身の関わり方について考えさせ、それを新聞やパンフレット、プレゼンテーションにまとめ、発信する場を設けたことにより、自分事として自らの生活の在り方を考え、自分の考えを豊かに表現する力が高まった。

今後の海洋教育推進の方向性として、海洋におけるプラスチックごみが世界的な問題となっている現状を鑑み、海洋の環境保全に関する内容を学習カリキュラムに組み入れ、児童が自らの生活とのつながりから海洋の環境問題について考えられるようにすることがある。

下記の表において、平成30年度の本校における海洋教育の内容と方向性を示す。

表9 【平成30年度 海洋教育の各学年内容と方向性】

学年	3年	4年	5年	6年
単元	有明海の生き物を知ろう	三池港の環境を守ろう	三池港ってどんな所？	三池港・有明海の魅力を発信しよう
キーワード	海に親しむ	海を守る	海を知る	海を利用する
内容	干潟体験 有明海の生き物	有明海・三池港の環境保全	三池港の歴史・魅力	三池港・有明海の魅力の発信
子どもにも体験・知識を蓄積する	・干潟の楽しさ ・タイラギの生態 ・ワラスボの生態 ・ムツゴロウ生態 等	・三池港のゴミ問題 ・海水浴場の様子 ・三池港保全への貢献 ・貝殻や流木を利用した小物作り 等	・三池港の歴史 ・世界遺産としての価値 ・夕日 ・夜の工場 ・釣りスポット 等	・まち作りの視点 ・三池港・有明海の魅力 等
発信	☆みなと小祭り ・有明海の生き物の生態をいかしたゲームの企画	☆貝殻・流木を利用した小物の販売 ☆三池港環境保全ポスター	☆三池港子どもガイドブック ・三池港の歴史 ・釣れる魚の紹介 ・景色の美しさ	☆ミニ三池港フェスティバル ・小物作り体験コーナー ・三池港物語 ・海の幸を生かした食べ物企画